

岩手県農業研究センターにおける環境負荷低減に関する研究開発状況

低減する項目	課題名	研究内容の概要
温室効果ガス	土壌による温室効果ガス軽減実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 耕地土壌の炭素貯留による温室効果ガス軽減について、全国の公設試等で連携し評価 本県内約 100 カ所の耕地土壌の炭素含量を 4 年毎に測定 [国庫 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業 (H20～R8)]
温室効果ガス	りんごにおける剪定枝を活用したバイオ炭施用体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> 農地における炭素貯留を進める全国プロジェクトの一部 炭化したりんご剪定枝を樹園地で多量に施用し続けた場合の土壌と果樹への影響を評価 [NEDO グリーンイノベーション基金事業 (R5～7)]
温室効果ガス・化学肥料	持続的な農業生産に向けた有機質資源連用の影響評価	<ul style="list-style-type: none"> 肥料費低減及び環境負荷軽減に必要な堆肥の長期施用による土壌や作物生育への影響を評価 長期施用に伴う土壌への炭素貯留による温室効果ガス軽減について評価 [県単 土壌対策研究費 (H15～R12)]
化学肥料	堆肥入り新肥料の実用化試験	<ul style="list-style-type: none"> 肥料制度の改正により製造可能になった堆肥を原料に含めた新肥料について、作物の生育や収量への影響などを評価 (R5: 水稲用肥料 3 銘柄、野菜用肥料 1 銘柄) [岩手県施肥合理化協議会委託事業 (R4～7)]
化学肥料	多様なニーズに対応する水稲品種の育成	<ul style="list-style-type: none"> 土壌有機物や有機質肥料中の窒素を効率的に吸収する水稲品種の育成 (国が公表している「みどりの食料システム戦略」技術カタログ (2030 年までに利用可能な技術) 掲載技術「土壌微生物を介した窒素吸収を促進する水稲品種の育成に向けた遺伝子の同定 (岩手生工研)」を活用)
化学合成農薬	殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ総合防除体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> 斑点米カメムシ類の繁殖源となる畦畔雑草の出穂時期の管理と、割れ粉が発生しにくい水稲品種を組み合わせた、化学合成農薬の使用を減らした斑点米カメムシ類の防除方法を確立 (盛岡市、雫石町) [みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業 (R3-5)]
化学合成農薬	殺虫剤だけに頼らない施設トマトの害虫総合防除体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤抵抗性が発達しやすい施設トマトの微小害虫に対する物理的防除 (赤色防虫ネット等) や生物的防除 (天敵製剤) を組み合わせた総合防除体系を確立 (盛岡市) [みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業 (R3-6)]
化学合成農薬	りんご園地における土着天敵を活用した防除技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> 土着天敵の温存のための下草の高刈りと、天敵類に優しい選択性殺虫剤を使用した土着カブリダニ類の保護による、りんごのハダニ被害を抑制する技術を確立 (花巻市) [消費安全対策交付金 (H30～R7)]

低減する 項 目	課 題 名	研究内容の概要
化学合成 農薬	多様なニーズに対応する 水稲品種の育成	<ul style="list-style-type: none"> • いもち病等の耐病性を有する水稲品種の育成 [地球温暖化適応品種開発プロジェクト事業 (R5~8)]
マイクロ プラスチ ック	プラスチック被覆肥料 以外による肥効調節型 施肥技術の実用化	<ul style="list-style-type: none"> • プラスチック被覆肥料を用いた全量基肥一発施肥体系が 広く普及したが、海洋汚染防止のためプラスチック被覆を 用いない肥料での一発施肥体系を検討 (R5：水稲用肥料4 銘柄、水稲ペースト肥料2段施肥技術) [岩手県施肥合理化協議会委託事業 (R5~7)]